

ご報告



あの目を忘れない…。
3・11に集い、祈り、学ぶ。

東日本大震災鎮魂 コンサートvol.5

—想いを胸に生きる—

2018年3月11日、当財団主催による「東日本大震災鎮魂コンサートvol.5」が、めぐろパシモンホール小ホールで開催されました。

14時46分、地震発生時刻に合わせて全員で黙祷を捧げた後、第1部では講師、宝井琴柑さんによる新作講談「伊達政宗と震災復興」が読まれました。東日本大震災からちょうど400年前の1611年に起きた、東日本大震災と同規模とされる慶長三陸（奥州）地震津波のお話です。仙台藩主、伊達政宗がいかにして復興へ



フォーレのレクイエムを学ぶ歌う会・北野財団フォーレ・アンサンブル

の道を押し進め、仙台藩を発展させたのか、張り扇を小気味よくパンと叩きながら読まれました。

第2部では、公募により集まった約70名の合唱団員が半年間か



指揮：澤村杏太郎さん



講談：宝井琴柑さん

けて練習に励んだフォーレ作曲「レクイエム」とモーツァルト作曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を、澤村杏太郎さん指揮の下、小編成オーケストラとハープの音色と共に演奏し、会場は鎮魂の想いでひとつになりました。

コンサート後には解団式があり、指揮者をはじめご指導いただいた先生方やソリストから感謝の挨拶がありました。

第5回を迎えた鎮魂コンサートは今回で一日幕を下ろし、次回からはチャリティーコンサートと



ソプラノ独唱：藤井 冴さん



バリトン独唱：小林大祐さん

して生まれ変わります。
なお、コンサートによるチケット収入は被災地復興に役立てていただくよう、目黒区を通して被災地へ寄付されました。

2017年度 広東工業大学 奨学金授与式開催

2018年4月3日、中国・広東省にある広州斯坦雷有限公司において、広東工業大学奨学生に対する奨学金授与式が行われました。2006年に始まった同校への奨

学金制度は今回の10名を加えるとこれまでに120名の学生に奨学金を授与しています。授与式では、広東工業大学の藍鏡彬副社長、張家輝先生出席のもと、広州斯坦雷有限公司の富永総経理から各5,000元の奨学金が授与され、奨学生たちは、その喜びと今後の抱負などを熱く語りました。その後、奨学生たちは工場見学を行い、興味深く説明を聞いていました。



奨学生と関係者のみなさん



今後の抱負を語る奨学生